

平成 27 年 6 月 8 日

各 位
(ご担当記者様)

大月市
株式会社大林組

**㈱大林クリーンエネルギーが山梨県大月市にて木質バイオマス発電事業に参入
～ 県内で発生する間伐材などを利用し、地元雇用の拡大にも貢献 ～**

山梨県では、県内に豊富な森林資源の有効かつ持続的な活用を推進しているところであり
ます。

このたび大月市(市長:石井由己雄)と株式会社大林組(本社:東京都港区、取締役社
長:白石 達)は、大林組グループの再生可能エネルギー事業会社である株式会社大林ク
リーンエネルギー(出資:大林組 100%、本社:東京都港区、取締役社長:入矢桂史郎)が「大
月バイオマス発電株式会社(出資:新エネルギー開発ほか 1 名、取締役社長:有坂秀彦)」
の全株式を取得し、同社が山梨県大月市にて進めていた木質バイオマス発電事業を承継し、
バイオマス発電事業に参入することに合意しました。

大月市は、環境企業誘致の一環として、2010 年度から立地検討や地元住民への説明を行
うなど、大月バイオマス発電の事業推進に対して積極的に協力してきました。また、大林
組グループは、太陽光発電を皮切りとして再生可能エネルギー事業にいち早く取り組んで
いますが、このたび、その事業領域の拡大として FIT 制度下において建設業で初めて木質
バイオマス発電への参入を決め、これまで培った技術・ノウハウを結集のうえ、県の進め
る施策を踏まえ、市と協力しながら本事業を進めていきます。

今後、大月市は、地元雇用の拡大、農業や林業への波及効果を高めるべく大林クリー
ンエネルギーとともに本事業を推進していきます。なお、発電所の建設工事は、プラント設備
を含めた EPC 契約(1)により大林組が一括して請け負い、2015 年 8 月に着工する予定で
す。完成すると、約 3 万世帯分(2)の発電能力を有するバイオマス発電所となります。

本事業を通じ、大月市、大林組グループは安全・安心を基盤とした低炭素社会、循環社
会、自然共生社会を実現します。

以上

<大月バイオマス発電事業概要>

- ・発電容量 14MW（定格出力）
- ・計画地 山梨県大月市笹子町白野
- ・商業運転開始 平成 29 年度（予定）



1 EPC 契約

設計（engineering）、調達（procurement）、建設（construction）を含む、建設プロジェクトの建設工事請負契約を指す。

2 一世帯あたりの電力消費量を年間 3,600kWh（電気事業連合会公表値）として試算。

本件に関するお問い合わせ先

大月市 産業建設部産業観光課 TEL：0554（20）1828

株式会社 大林組 CSR 室広報部広報第一課 市川 TEL：03（5769）1014